

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	2,902	19.9	△58	—	△28	—	△20	△403.8
25年6月期第2四半期	2,420	15.6	42	20.3	45	47.8	△4	—

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 △20百万円(—%) 25年6月期第2四半期 4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	△4.81	—
25年6月期第2四半期	△0.97	—

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	3,348	575	17.2
25年6月期	2,671	734	23.9

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 574百万円 25年6月期 637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、26年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の26年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金は2,200円となり、年間の1株当たり配当金は2,200円となります。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	26.4	85	△50.9	150	△14.3	90	5.9	21.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) マイ・サクセス株式会社、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年6月期2Q	5,076,000株	25年6月期	5,076,000株
26年6月期2Q	855,700株	25年6月期	786,000株
26年6月期2Q	4,244,483株	25年6月期2Q	4,176,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 平成25年7月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期末自己株式数並びに期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政権交代後の追い風を受けた製造業を中心に景況感が改善し、徐々に景気回復の兆しが見え始めたものの、一方で円安による原材料価格の上昇や、平成26年4月の消費税増税等による個人消費低迷の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、このような状況の中、取巻く環境の急激な変化に対応するための体質強化を図るべく、積極的なM&Aの推進及び拠点の新設、大幅な組織改編等、各事業における売上拡大へ向けた施策を実施してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,902,106千円(前年同期比19.9%増)、利益面におきましては諸経費や人件費及びその他販売管理費の削減を推進しておりますが、メイン事業である生花祭壇事業における売上高が、計画より低調に推移したことに伴い、営業損失は58,093千円(前年同期は42,313千円の営業利益)、経常損失は28,963千円(前年同期は45,404千円の経常利益)、四半期純損失は20,431千円(前年同期は4,055千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,559,635千円(前年同期比1.6%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成25年7月から平成25年11月までの売上高は240,964百万円(前年同期比3.0%増)、取扱件数は170,182件(前年同期比3.3%増)と葬儀単価はやや低下しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です(同調査は、平成25年4月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成25年3月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このように葬儀業全体では市場は拡大しておりますが、葬儀業における各カテゴリー(葬祭専門事業者、冠婚葬祭業者、農業協同組合、新規参入事業者等)別や地域別にみるとその状況は均一ではありません。特定のカテゴリー事業者や地域では社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化しつつあり、葬儀の小型化や単価の下落傾向が続いております。

このような状況の中で、当事業では単価下落による売上の減少をカバーするべく、拠点新設や大幅な組織改編、低価格帯商品の企画提案等による、新規顧客獲得・既存顧客の発注シェアアップやリピート件数獲得を図ってまいりました。

具体的には、平成25年10月に「関東受注センター」を新設し関東地区における機動的な受注システムを構築、同月に東京都新宿区に「落合営業所」、同年12月には「長野支店」をそれぞれ新設するなど売上拡大へ向けた施策を実施し、更には加工物流センターにおける商品規格を見直すなど、原価低減による粗利益率向上へも取り組みました。

一方で、台湾子会社の美麗花壇股份有限公司による事業再編の一時的な収益の悪化、円安による原価率の上昇、1件あたりの施工単価の下落傾向により営業利益は66,872千円(前年同期比65.9%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、544,084千円(前年同期比23.0%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成25年12月)によると、平成25年7月から平成25年12月までの切花累計の取扱金額

は31,133百万円(前年同期比4.2%増)、数量では474百万本(前年同期比1.9%減)と金額ベースでは増加、数量ベースでは減少傾向にあります。当事業では、引き続き既存顧客並びに新規顧客への積極的な販売促進活動が奏功し、その結果売上数量・売上金額ともに増加傾向にありましたが、組織改編等に伴う販売管理費増加の影響により、営業利益は68,108千円(前年同期比12.4%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は252,062千円(前年同期比73.1%増)となりました。少子化と非婚化の影響を受け、婚姻件数は減少傾向にあるものの、オリジナル挙式志向の高まり、結婚年齢の上昇等による費用の増加を背景に大きな市場規模が保持されております。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成25年6月から平成25年11月までの結婚式場業の売上高は80,824百万円(前年同期比1.3%減)、取扱件数は27,239件(前年同期比0.7%減)となっております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、平成25年1月に株式会社Standing Ovationよりブライダル装花事業を譲り受け事業拡大を図ったほか、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は49,366千円(前年同期比120.9%増)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建築事業の売上高は419,980千円(前年同期比114.4%増)となりました。土木・建設事業は熊本市内及びその近郊にて事業を行っております。熊本県内の近年の工事内容を見ると、災害対策として河川などの維持・修繕工事に加え、安倍政権の経済政策「アベノミクス」による公共投資の増加が寄与しております。今後もこの傾向は暫く堅調に推移するものと思われれます。しかしながら、公共工事件数の大幅な増加に伴う資材や人件費の高騰により、営業利益は10,977千円(前年同期は7,348千円の営業損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業及び不動産管理事業を行っております。売上高は126,343千円(前年同期比23.1%増)、営業損失は4,854千円(前年同期は7,110千円の営業損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、貸借及び管理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ677,248千円増加し、3,348,388千円となりました。これは主に完成工事未収入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ836,828千円増加し、2,772,976千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ159,579千円減少し、575,412千円となりました。これは主に、利益剰余金、少数株主持分の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期通期連結業績予想については、平成25年8月9日の決算短信にて公表した通期の連結

業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を御参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年10月1日にマイ・サクセス株式会社の株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社は連結子会社となりました。なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,847	901,749
受取手形及び売掛金	497,759	676,940
完成工事未収入金	2,639	200,870
商品	5,798	6,950
仕掛品	1,956	3,520
原材料及び貯蔵品	23,920	37,246
未成工事支出金	308	14
その他	101,862	143,602
貸倒引当金	△15,552	△16,484
流動資産合計	1,392,539	1,954,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	386,132	431,179
減価償却累計額	△148,680	△161,921
建物及び構築物(純額)	237,451	269,257
車両運搬具	170,650	191,735
減価償却累計額	△91,280	△113,691
車両運搬具(純額)	79,369	78,043
工具、器具及び備品	195,546	190,944
減価償却累計額	△145,818	△142,520
工具、器具及び備品(純額)	49,727	48,424
土地	242,627	235,091
その他	21,211	28,594
減価償却累計額	△11,096	△11,730
その他(純額)	10,114	16,864
有形固定資産合計	619,290	647,681
無形固定資産		
のれん	114,716	150,869
その他	9,996	19,573
無形固定資産合計	124,713	170,442
投資その他の資産		
投資不動産	182,571	210,697
減価償却累計額	△13,404	△14,726
投資不動産(純額)	169,166	195,971
差入保証金	170,836	160,753
その他	242,477	252,893
貸倒引当金	△47,884	△33,764
投資その他の資産合計	534,596	575,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定資産合計	1,278,600	1,393,977
資産合計	2,671,140	3,348,388
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,929	302,191
短期借入金	453,507	895,000
1年内返済予定の長期借入金	375,463	438,031
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
未払金	66,398	77,858
未払法人税等	49,156	17,617
賞与引当金	6,911	4,920
その他	269,029	337,124
流動負債合計	1,359,395	2,092,743
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	488,516	603,327
退職給付引当金	27,696	30,955
その他	20,540	15,950
固定負債合計	576,753	680,232
負債合計	1,936,148	2,772,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	438,095	391,923
自己株式	△156,922	△178,643
株主資本合計	636,468	568,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	486
為替換算調整勘定	777	5,261
その他の包括利益累計額合計	1,188	5,747
新株予約権	—	1,087
少数株主持分	97,334	—
純資産合計	734,991	575,412
負債純資産合計	2,671,140	3,348,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,420,978	2,902,106
売上原価	1,924,601	2,439,491
売上総利益	496,376	462,615
販売費及び一般管理費	454,063	520,708
営業利益又は営業損失(△)	42,313	△58,093
営業外収益		
受取利息及び配当金	319	552
受取賃貸料	5,784	10,242
為替差益	—	79
その他	11,850	33,862
営業外収益合計	17,954	44,737
営業外費用		
支払利息	8,007	7,543
不動産賃貸費用	2,036	2,513
為替差損	3,548	—
その他	1,271	5,551
営業外費用合計	14,863	15,608
経常利益又は経常損失(△)	45,404	△28,963
特別利益		
受取損害賠償金	—	17,438
その他	—	118
特別利益合計	—	17,556
特別損失		
固定資産除売却損	9,460	3,300
長期前払費用償却	—	7,857
その他	1,909	237
特別損失合計	11,370	11,395
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,034	△22,802
法人税、住民税及び事業税	25,678	6,727
法人税等調整額	△3,525	△926
法人税等合計	22,152	5,800
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	11,882	△28,603
少数株主利益又は少数株主損失(△)	15,938	△8,171
四半期純損失(△)	△4,055	△20,431

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	11,882	△28,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,470	55
為替換算調整勘定	△5,717	8,163
その他の包括利益合計	△7,187	8,218
四半期包括利益	4,694	△20,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,384	△15,886
少数株主に係る四半期包括利益	13,079	△4,497

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,034	△22,802
減価償却費	38,684	41,226
のれん償却額	5,313	13,421
差入保証金償却額	1,896	569
長期前払費用償却額	5,079	13,454
貸倒引当金の増減額(△は減少)	559	△15,046
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,075	△1,991
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,203	2,555
受取利息及び受取配当金	△319	△1,188
受取賃貸料	△5,784	△10,242
補助金収入	△3,099	△950
支払利息	8,007	7,543
固定資産除売却損益(△は益)	9,460	3,300
売上債権の増減額(△は増加)	47,941	△294,222
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,283	△12,432
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,539	△28,164
仕入債務の増減額(△は減少)	58,990	119,444
未成工事受入金の増減額(△は減少)	68,501	26,711
その他の負債の増減額(△は減少)	24,477	△17,310
その他	780	△14,190
小計	284,980	△190,315
利息及び配当金の受取額	319	1,188
賃貸料の受取額	4,508	8,586
補助金の受取額	3,099	950
利息の支払額	△6,629	△8,330
法人税等の支払額	△26,782	△38,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,496	△226,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	9,957
貸付けによる支出	△2,000	△570
貸付金の回収による収入	2,369	1,873
関係会社株式の取得による支出	△37,000	△111,021
有形及び無形固定資産の取得による支出	△40,961	△92,471
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	1,461
保険積立金の積立による支出	△17,691	△17,691
差入保証金の差入による支出	△723	△5,158
差入保証金の回収による収入	19,841	21,752
その他	7,279	15,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,885	△176,547

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	360,000	540,000
短期借入金の返済による支出	△248,890	△73,507
長期借入れによる収入	320,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△348,145	△227,121
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
自己株式の取得による支出	—	△21,720
配当金の支払額	△37,067	△25,740
その他	△3,096	△3,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,800	523,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,753	7,605
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	214,658	127,901
現金及び現金同等物の期首残高	528,677	773,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	743,336	901,749

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,534,407	442,431	145,645	195,843	2,318,327	102,650	—	2,420,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	448,587	4,246	—	452,834	10	△452,844	—
計	1,534,407	891,019	149,891	195,843	2,771,162	102,660	△452,844	2,420,978
セグメント利益又は損失(△)	196,263	77,749	22,344	△7,348	289,008	△7,110	△239,585	42,313

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 △239,585千円には、セグメント間取引消去 △17,603千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △221,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,559,635	544,084	252,062	419,980	2,775,763	126,343	—	2,902,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	490,029	2,314	—	492,355	1,331	△493,687	—
計	1,559,647	1,034,113	254,377	419,980	3,268,118	127,675	△493,687	2,902,106
セグメント利益又は損失(△)	66,872	68,108	49,366	10,977	195,324	△4,854	△248,840	△58,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 △248,840千円には、セグメント間取引消去 17,470千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △266,310千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

生花卸売事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にマイ・サクセス株式会社の株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては41,374千円であります。